



TrekMaster

ST-331

トレックマスター

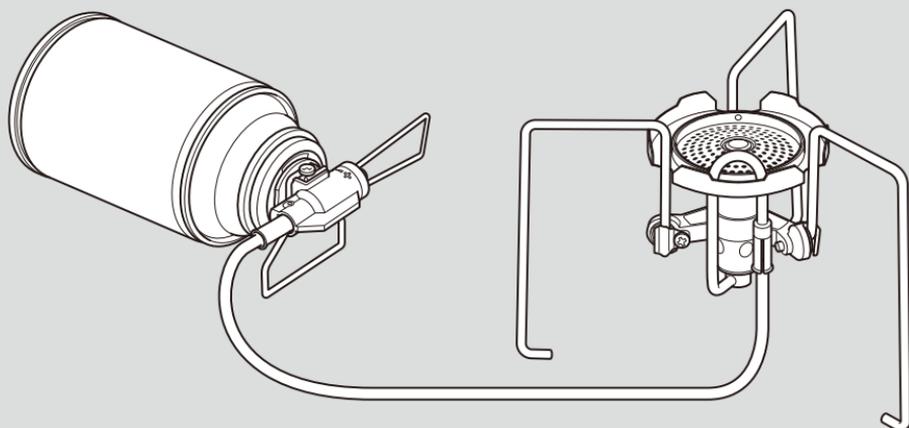
〈生産物賠償責任保険付・保証書付〉

取扱説明書

このたびは SOTOトレックマスター ST-331をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、製品に付属の「銘板」とともに大切に保管してください。

目次

| | |
|-----------------|-----|
| 特に注意していただきたいこと | 1~2 |
| 各部の名称/仕様 | 3 |
| 使用方法 | 4~5 |
| 製品の経年劣化に関する注意 | 6 |
| 日常の点検・手入れ | 6 |
| 故障・異常の見分け方と処置方法 | 6 |
| アフターサービス | 7 |



屋外専用

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある⊘マークは禁止を表します。



警告

(取扱を誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

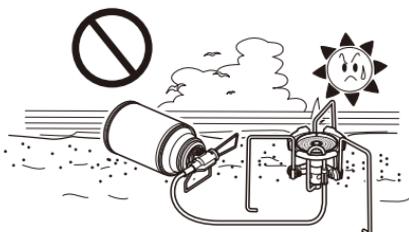
■使用容器（ボンベ） 過熱注意

以下のような使い方は厳禁！容器（ボンベ）が過熱し爆発の原因となります。

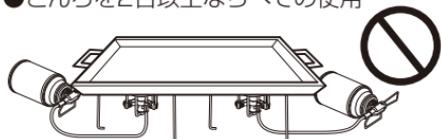
- 炭の火起こしなど炭をのせての使用



- 夏の砂浜など日光によって容器（ボンベ）が過熱するような場所での使用



- こんろを2台以上ならべての使用



■使用容器（ボンベ）の取扱上の注意

- 使用容器（ボンベ）はSOTO製品の専用容器（ボンベ）を必ずご使用ください。

- 容器（ボンベ）に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

- 使用容器（ボンベ）は火気や直射日光（室内や車内の窓際など）を避けてキャップをして風通しが良く、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。



- 使用容器（ボンベ）を火の中に投げないでください。爆発して危険です。



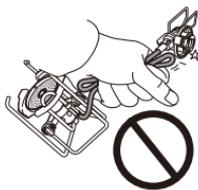
- 使用容器（ボンベ）をファンヒーターの前など熱気にあたる場所に放置しないでください。熱で容器（ボンベ）の圧力が上がり爆発する危険があります。



- 使用中は時々正常に燃焼していることを確認してください。

- 保管してある容器（ボンベ）は、時々点検してサビが発生している場合にはできるだけ早くご使用ください。

- 燃料ホースが90度以上、曲がるような扱いはしないでください。燃料漏れの原因となります。



■使用済み容器（ボンベ）の処理に関する注意

- 容器（ボンベ）を振ってサラサラと音がする場合にはまだガスが残っています。

そのまま温度の高い所に放置したり、火の中に投入すると爆発する危険があります。

- 容器（ボンベ）は完全に使いきってから他のゴミと区別して捨ててください。

(各自治体の処理方法に従って捨ててください。)

◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある⊘マークは禁止を表します。



警告

(取扱を誤った場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

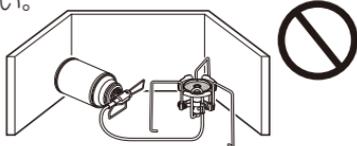
■火災予防のために

- こんろの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
- 落下物の危険のある場所では使用しないでください。
- 燃えやすいものからは、30cm以上離してご使用ください。



■使用場所

- 強い風が吹くときは使用しないでください。風で炎が消される危険があります。
- 屋外専用ですので家中、テントの中、車の中では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠による窒息死のおそれがあります。
- 設置面が安定していて、平らで安全な場所に置いてご使用ください。
- 直射日光を避け、地面の涼しい場所でご使用ください。
- ヒーターやたき火の近くなど熱気があたる場所では絶対にご使用にならないでください。容器(ボンベ)が過熱され爆発する危険があります。
- 風よけのためでも石やブロックおよび板等で全面を囲んでの使用は容器(ボンベ)が過熱し、非常に危険ですのでおやめください。

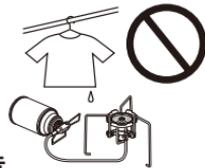


■換気について

- ご使用中は、換気に十分ご注意ください。
- 屋外でも換気の不十分な状態で使用しないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

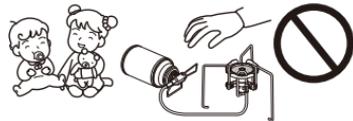
■用途について

- 調理以外の用途には使用しないでください。過熱、異常燃焼などによる破損や火災などの危険があります。
- 衣類の乾燥などに使用しないでください。衣類が落下して火災になるおそれがあります。



■やけどに注意

- ご使用中およびご使用後は、こんろが高温になっていますのでやけどにご注意ください。
- ご使用の際は、お子さまに十分ご注意ください。
- 点火するときは、顔や手をバーナー付近に近づけないでください。



■異常時の処置

- 燃焼中は容器(ボンベ)を絶対に取り外さないでください。
- 万一異常燃焼を起こした場合や緊急の場合は、あわてず器具栓つまみをOFF(右)の方向に回らなくなるまで回して消火してください。それでも消えない場合は、消火器などで消火してください。消火を確認し、器具が冷めてから容器(ボンベ)を取り外してください。
- 器具栓つまみをOFF(右)の方向に回らなくなるまで回しても消火しない場合は、無理に器具栓つまみを回さず周囲に注意してガスがなくなるまで燃焼させたのち点検修理を依頼してください。

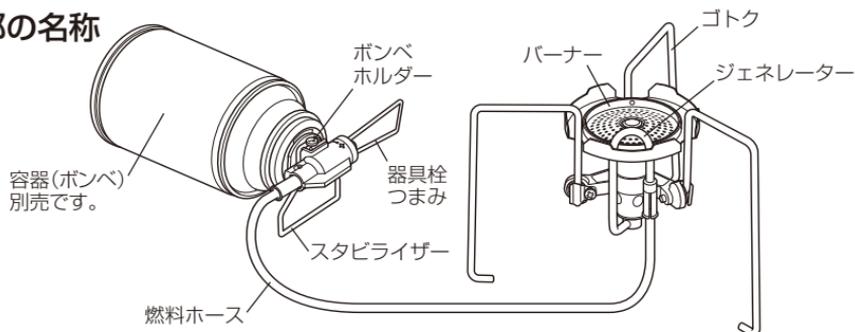
■補助具についての注意

- 鉄板、焼き網、ダッチオーブンの空焚きでの使用、またセラミック製品、溶岩石プレートの使用はしないでください。燃焼部が高温になりバーナー部、燃料ホースが破損するおそれがあります。



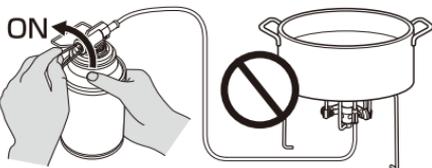
◆各部の名称/仕様

■各部の名称



⚠ 警告 鍋等をのせての点火厳禁!

こんろに鍋等をのせたまま点火操作をすると、鍋等が転倒しやけどをするおそれがあります。点火操作は必ず鍋等をのせない状態で行ってください。



■製品仕様

外形寸法 / 幅500×奥行140×高さ105mm(使用時、ホース含む)
 / 幅90×奥行70×高さ105mm(収納時)

ゴトク径 / Φ160mm

重量 / 約195g

発熱量^{※1} / 3.0kW (2,600kcal/h) (ST-711・ST-712使用時)

/ 2.8kW (2,400kcal/h) (ST-760使用時)

/ 2.3kW (2,000kcal/h) (ST-700使用時)

使用時間^{※2} / 約0.5時間 (ST-711 1本使用時)

/ 約1.0時間 (ST-712 1本使用時)

/ 約1.2時間 (ST-760 1本使用時)

/ 約1.5時間 (ST-700 1本使用時)

使用容器 / SOTO製品専用容器(ST-760、ST-700、ST-711、ST-712)

点火方式 / ライター等で点火

材質 / パーナー・器具栓つまみ・

ゴトク:ステンレス、

ボンベホルダー:樹脂

付属品 / 収納ポーチ(材質:タイベック)^{※3}

生産国 / 日本

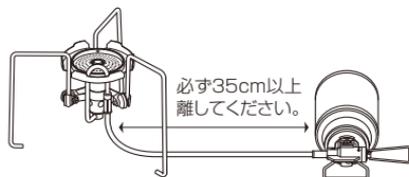
※1 気温25℃無風状態で点火後から5分間の燃焼データより算出

※2 気温25℃無風状態で点火後から30分間の燃焼データより算出

※3 収納ポーチのシフは生地特性によるものです

⚠ 警告 容器(ボンベ)の過熱に注意

使用時は容器(ボンベ)の過熱を防ぐためパーナーと容器(ボンベ)を必ず35cm以上離して使用してください。



⚠ 警告 輻射熱の大きい調理器具の使用厳禁!

セラミック付焼網、大きい鉄板等、輻射熱が強く発生する調理器具は絶対に使用しないでください。燃焼部が高温になりパーナー部、燃料ホースが破損するおそれがあります。



■別売品 SOTO製品専用容器(ボンベ)

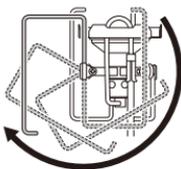
●SOTO ●SOTO ●CB TOUGH ●CB TOUGH
 レギュラーガス パワーガス 125 220
 ST-700 ST-760 ST-711 ST-712



◆使用方法

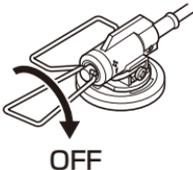
1 バーナー部のセット

- ①3本のゴトクを図のように回らなくなるまで回転させセットします。



2 容器(ボンベ)の取り付け

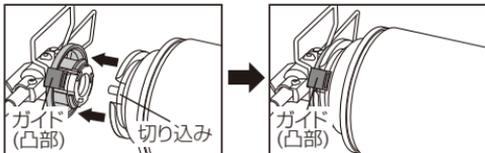
- ①器具栓つまみを「-」(右)の方向に回らなくなるまで回し完全に閉じていることを確認します。



- ③ガイド(凸部)と容器(ボンベ)の切り込み部を右方向に止まる位置まで約60度回します。ガイド(凸部)がスタビライザー側を向いた位置が取り付け完了の位置です。



- ②ボンベホルダーのガイド(凸部)が所定の位置(左側に止まるまで回した位置)にあることを確認します。容器(ボンベ)の切り込み部をガイド(凸部)に合わせ矢印方向に押し付けます。



⚠ 注意 容器(ボンベ)の取り付け時の注意

容器(ボンベ)取り付けの際はガイド(凸部)が、所定の位置(左側に止まるまで回した位置)にあることを確認してください。所定の位置以外にあると容器(ボンベ)の取り付けができません。



⚠ 警告

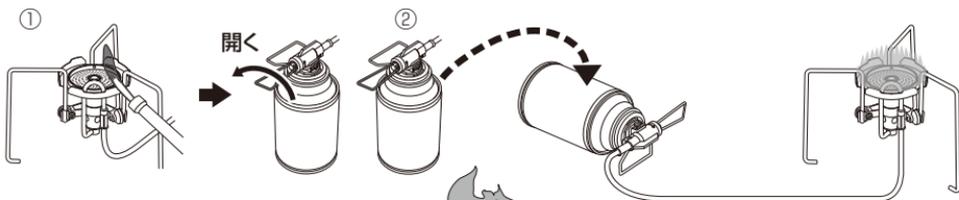
ガス漏れに注意

ガス漏れに注意してください。容器(ボンベ)取り付け後、容器(ボンベ)がたつかないか、「シュー」というガス漏れの音やガスの臭気がないかを確認してください。

3 点火

- ①容器(ボンベ)を直立させたままマッチ、ライター等を点火し、器具栓つまみを「+」(左)の方向に多少回してガスを出し点火します。

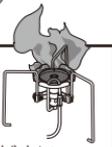
- ②約30秒後、炎が安定したら容器(ボンベ)をゆっくり倒し、バルブのスタビライザーが安定するように地面に設置します。



⚠ 注意

注意

ボンベを逆さ状態で点火すると生ガスが出て危険です。また強風時や不整地では逆さ状態のボンベが転がらないようご注意ください。



※ボンベを直立状態のまま燃焼させ続けると異常燃焼により、ジェネレーターの劣化の原因となりますので必ず点火の約30秒後に上記図のように設置してください。

※点火時にやけどをしないように、先(ノズル)の長いライター等を使ってください。

※標高約3000m以上の高地などでは気圧の影響で電子式ライターは点火しにくくなります。必ず予備のマッチやフリント式(ヤスリ式)ライターを携帯してください。

オレンジ色の炎について

- ◎吹きこぼれ等によってバーナーヘッドに食材の塩分が付着した場合には炎色反応によって炎が赤(オレンジ)色になる場合があります。この場合濡れた布等で燃焼部を拭くことで、症状が改善する場合があります。
- ◎使用を繰り返すことで燃焼部が熱によって酸化し炎が赤(オレンジ)色になる場合がありますが異常ではありません。オレンジ色に炎が変色した場合初期の燃焼状態(青い炎)に戻すことはできません。
- ◎製造加工時の油等の影響により、炎が赤(オレンジ)色になることがございますが、異常ではございません。

警告 生ガスに注意

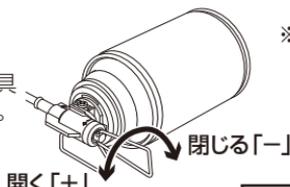
生ガス(気化していない霧状の白いガス)が出た時は、点火せず一度器具栓つまみを閉じ、もう一度点火してください。

警告 燃焼中の移動禁止

燃焼中にこんろを持ち運んだり、動かしたりすると、やけどや火災の危険があります。燃焼中は絶対に持ち運んだり動かしたりしないでください。

4 火力の調節

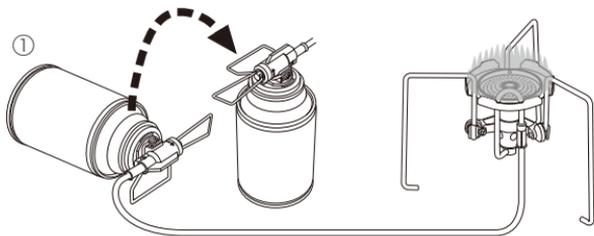
火力の調節は、炎を確認しながら器具栓つまみを少しづつ回して行います。



※容器(ボンベ)の内圧の状態によって、燃焼時ガスの勢いが波打つ場合がありますが異常ではありません。

5 消火

①容器(ボンベ)をゆっくりと回転させ、直立させます。



②約30秒後、器具栓つまみを「-」(右)の方向に回らなくなるまで回し、消火を確認します。

※ホース内のガスが燃焼し終えて消火するまで数秒かかります。



警告 やけどに注意

燃焼中、および消火直後はゴトク全体が高温になっていますので絶対にさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

ゴトク
熱い!

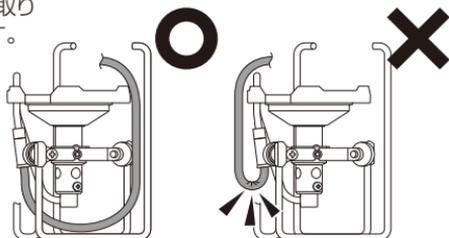


6 容器(ボンベ)の取り外し

容器(ボンベ)を左方向へ止まるまで約60度回し、取り付け時と逆方向に引き容器(ボンベ)を取り外します。

7 収納

ご使用後、こんろ全体が十分冷めてから、セット時と逆の手順で右図のように3本のゴトクを閉じ収納します。ホースの破損防止のため、図のようにたたんでください。



◆製品の経年劣化に関する注意

- 本製品のガスの接続にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用頻度に関わらず年月とともに劣化していきます。
- 本製品においては製品に付属の銘板に記載の製造年月より10年を目安に、お買い替えをご検討いただきますようお願いいたします。

製品に付属の銘板

製品型式No. ST-331
シリアルNo. ○○△-□□□□□□
新富士バーナー株式会社

○○=製造年(西暦) △△=製造月

◆日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 日常の点検・手入れは必ず行ってください。
- 特に煮こぼれたときは、必ずバーナーの掃除を行ってください。
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

点検・手入れ

- 点検・手入れの前には、必ず容器(ボンベ)をはずし、こんろが完全に冷めてから行ってください。
- 点検・手入れの際は絶対に分解しないでください。

• **本体** 汚れ、水分を放置すると故障の原因となります。ご使用後は、汚れを取り除き、乾いた布で水分をよく拭き取ってから保管してください。汚れの落ちにくい場合は、中性洗剤で汚れを落とし乾いた布でよく拭き取ってください。

• **バーナー** バーナーの目づまりは、不完全燃焼の原因となります。煮こぼれなどで汚れた場合は必ず掃除してください。

• **リング** 使用頻度に関わらず経年劣化する消耗品ですので、使用する前に必ず点検してください。

リングに摩耗や損傷がある際や、容器(ボンベ)を取り付けた状態で、異音や異臭がした時は使用せずに販売店または当社お客様係まで相談してください。

◆故障・異常の見分け方と処置方法

| 原因 \ 症状 | 容器(ボンベ)がセットできない | ガスが出ない | 消火しない | ガスのにおいがする | 点火しにくい | 点火しない | バーナーに火移りしない | 火力が弱い | 炎が不揃い | 使用中に火が消える | 処置方法 |
|----------------------|-----------------|--------|-------|-----------|--------|-------|-------------|-------|-------|-----------|------------------------|
| 容器(ボンベ)の取り付け不良 | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | | | 容器(ボンベ)を取扱説明書どおりに取り付ける |
| 器具栓の故障 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | | 点検、修理を依頼する |
| ノズルがつまっている | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 点検、修理を依頼する |
| ガスがなくなっている(少なくなっている) | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 新しい容器(ボンベ)に取り替える |
| バーナーの目づまり | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 金属ブラシなどで掃除する |
| 点火操作が適切ではない | | | | | ○ | | | | | | 正しい点火操作をする |

※容器(ボンベ)の温度が低い場合には、火力が弱くなる場合がありますが器具の故障ではありません。

◆アフターサービス

アフターサービスを依頼する前に6ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」を見てもう一度確認してください。確認の上それでも不具合な場合あるいはご不明の場合は、ご自

分で修理なさらず、お買い求めになった販売店又は当社「お客様係」☎0120-75-5000までご相談ください。

トレックマスター ST-331 保証書

この製品は万全を期していますが、正しい使用にもかかわらず万一故障した場合は本保証書に製造番号、お買上げ年月日、販売店名、お名前、ご住所、お電話番号および症状をお書き添えの上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | | |
|--------|-----------------|---------|
| 製品名・型式 | トレックマスター ST-331 | お名前 |
| 製造番号 | | ご住所 |
| 保証期間 | お買上げ日より1年間 | |
| お買上げ日 | 年 月 日 | お電話 () |

取扱販売店・住所・電話番号

症状



新富士バーナー株式会社

保証規定

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

- 保証期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った正常なる使用状態において、万一故障した場合には、無料で修理いたします。
- 修理依頼時には、つぎの事項にご注意ください。
 - 必ず商品と本保証書をご提示ください。
 - 保証期間を過ぎた修理依頼も商品と本保証書をご提示ください。
 - 商品と本保証書の提示のない場合は、修理をお断りすることがあります。
 - ご贈答品等で本保証書にあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、当社「お客様係」☎0120-75-5000までご連絡ください。
- 保証期間内でも、つぎの場合は有料修理になります。

- ・使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ・お買上げ後の落下、移動、輸送等による故障及び損傷。
 - ・火災、地震、水害、落雷、塩害、弊社指定以外の燃料使用によるもの、その他、天災地変、公害による故障及び損傷。
 - ・保証書の提示がない場合。
 - ・本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4.本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 - 5.本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。



製造発売元/PL保険加入済

新富士バーナー株式会社

〒441-0314

愛知県豊川市御津町御幸浜一号地1番地3
TEL0533-75-5000(代) FAX0533-75-5033

<https://shinfuji.co.jp/>

E-mail:info@shinfuji.co.jp

MADE IN JAPAN

2025.2